普及現地情報

発信年月日	令和４年(2022 年) ９月２日
所　属　名	東近江農産普及課東部
番　　号	D22011
部門分類	340（獣害）
発信者名	田中（義）、松井

イノシシ対策として目隠し資材で侵入防止効果アップ

管内においても獣害の多い日野町においてイノシシの被害対策として、従来の獣害柵に目隠し資材を併設することでイノシシがネットの内側を視認しにくくなり、侵入を減らす効果を確認する実証ほの設置を行いました。

８月８日にイノシシの被害が多く問題となっている日野町中在寺において、東近江地域獣害協議会の研修会の一環と位置付けて市、町、県担当者８名で写真のとおり目隠し資材の設置を行いました。

目隠し資材は２種類で、１つは 4mm 目青色の 1m×50m の防風ネット、もう一つは 1m×25m の防草シートを用いました。防護柵に沿って下５cm程度を折り曲げ、結束バンドを約 1m 間隔でネット上部、中部、下部の３か所留めで 75m の長さで設置しました。作業時間は約 1 時間 30 分でした。

今後、風雨や獣によるネットの被害状況とネットの種類による違い、周辺ほ場にイノシシの被害がないかなどを確かめながら実証を重ね、東近江地域協会員や県関係者、集落と情報交換を重ね獣害軽減に努めていきます。

左：防風ネット　右：防草シート

防風ネットを防護柵に設置